

第69回 野村年金マネジメント研究会セミナー

困難を乗り越えるための年金資産運用

【プログラム】

(13:15 配信開始・ご案内)

13:30 – 13:35 開会の辞

荻島 誠治 野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社(NFRC) 代表取締役社長

第1部

13:35 – 14:20 基調講演

異次元緩和の見直しに動く日銀新体制

4月に発足する新体制のもとで、日本銀行は10年続いた異次元緩和の見直しを、個々の政策の副作用を減らす措置を順次講じる形で、数年かけて進めていくでしょう。その中で、マイナス金利政策やイールドカーブ・コントロールは廃止されると思います。それでも、金融引き締めには至らず、金融緩和の状態は維持されると見られます。長短金利の上昇幅は僅かで、見直しの経済への打撃は小さいでしょう。ただし、見直しの過程で円高が進む可能性には留意したいと思います。



木内 登英

株式会社野村総合研究所
エグゼクティブ・エコノミスト

1987年野村総合研究所入社。経済研究部を経て、1990年野村総合研究所ドイツ(フランクフルト)、1996年野村総合研究所アメリカ(ニューヨーク)勤務。2004年野村証券に転籍。2007年経済調査部長兼チーフエコノミスト。2012年日本銀行政策委員会審議委員に就任。2017年7月より現職。

14:20 – 14:50 講演

フォワードルッキング 2022 年度(更新版)の経済前提と期待リターンについて

2023年2月発行のフォワードルッキング(更新版)に用いた経済見通し、主要な資産クラスの期待リターン及び算出方法について解説します。



金親 伸明

野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社(NFRC)
フィデューシャリー・マネジメント部 コンサルタント

2014年東京大学経済学部卒業後、大和証券入社。富裕層向けのコンサルティング業務に従事し、資産運用の提案を行う。その後リスク管理業務に従事し、デリバティブ等の与信取引審査、VaR等のリスク量に関する分析・管理等を行う。2019年野村証券に入社。2021年12月より現職。

第2部

15:00 – 15:50

パネルディスカッション

不動産・プライベート市場の現状と展望

昨今、不動産・プライベートアセットに対して高い関心が示されています。しかし、一部の不動産ファンドに解約制限がかかる、ベンチャーキャピタル・ベンチャー企業を主な顧客とする米国の地銀(シリコンバレーバンク)が経営破綻するなどこの市場にも変調の兆しがあります。このパネルディスカッションでは、現在の市場環境を点検し、今後の投資アイデアについて議論します。

パネリスト

小川 詞子



ベネッセグループ企業年金基金
常務理事 兼 運用執行理事

2001年1月ベネッセグループ共済会に入社、経理及び秘書を担当。2005年1月ベネッセグループ企業年金基金へ異動後、資産運用補佐及び経理を担当。2007年1月に運用執行理事に就任。2020年11月に常務理事兼運用執行理事に就任、現在に至る。

鈴木 大地



野村アセットマネジメント株式会社
オルタナティブソリューション部 シニア・ポートフォリオマネージャー

2001年京都大学薬学部卒業。アイノ・インベストメント、三井住友DSアセットマネジメント、アーディアン・ジャパン等に在籍し、約20年にわたりオルタナティブ・ビジネスを経験。

2021年野村アセットマネジメント入社。オルタナティブ運用部ビジネス戦略チームリーダーとして、PE・インフラ・不動産等のオルタナティブ分野におけるGP・ファンドのソーシングおよびビジネス開発を担当。

犬間 由博



野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社(NFRC)
ファンド分析部 シニア・ファンド・アナリスト

三菱UFJ信託銀行、ジョーンズ・ラング・ラサール等にて不動産マーケットリサーチ及び不動産評価業務に従事したのち、2020年野村ファンド・リサーチ・アンド・テクノロジー入社。ファンド分析部(2021年12月、組織再編により野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社ファンド分析部)にて主に国内機関投資家に対し、国内外不動産ファンドの評価及びモニタリングサービスなどを提供している。

モデレーター

木須 貴司



野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社(NFRC)
フィデューシャリー・マネジメント部 シニアコンサルタント

国内保険会社を経て、2012年野村証券に入社。フィデューシャリー・マネジメント部(2021年12月、組織再編により野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社フィデューシャリー・マネジメント部)のソリューショングループ・グループリーダーとして顧客向けのソリューション開発、年金運用に関するリサーチを行う。CAIA協会認定オルタナティブ投資アナリスト。